

令和7年7月7日
都市局国際・デジタル政策課

スマートシティ推進に向けた情報提供依頼（RFI）を実施 ～3つの分野におけるスマートシティ事業に関する意見を募集します～

スマートシティ施策の更なる発展に向けて、今後、戦略的に取り組むことを検討している3つの分野における情報提供依頼（RFI）を実施します。

国土交通省では、先進的技術や官民データを用いて、まちの課題解決や新たな価値を創出する「スマートシティ」の社会実装に向けて、「スマートシティ実装化支援事業」を通じ、先駆的なスマートシティの取組を支援してまいりました。

これまで、個別地域の課題解決に寄与する多様なテーマに取り組み、スマートサービスの社会実装が進んできている一方、地域の多様な資源の利活用や高齢者等の見守りへの対応など、国として集中的・戦略的にデジタル変革に取り組む必要性が増大しています。

このため、今後戦略的に取り組むことを検討している3つの分野において、先進的・独創的なアイデア、知見・ノウハウ、技術・サービス等の情報を参考といたく、スマートシティ施策に関する情報提供依頼（RFI）を実施します。

○募集テーマ（詳細は別紙をご参照ください。）

本RFIでは、以下のテーマごとにアイデアや提案を募集します。

1. 地域資源の発掘・発信による地域の賑わい・生業創出
2. 地域における面的な見守りのデジタル化
3. リアルタイムでの環境情報の提供等による回遊の高度化（暑熱対策等）

○募集期間

令和7年7月7日（月）～令和7年8月8日（金）まで

○情報提供主体

各募集テーマに関する知見・技術を持った企業、大学、研究機関、市民団体等

※ 都市局では、スマートシティ推進を目指した「官民連携を促進する中心的な団体」の存在を重要視しています。「官民連携を促進する中心的な団体」とは、持続可能なスマートシティのビジネスモデルの構築を目指し、地域に根差しながら課題を深掘り、自ら地域の課題解決に必要なデジタル技術を持つプレイヤーを巻き込み、官民連携を促す存在であることが望ましいと考えます。

技術・ソリューションを持つ企業のみならず、「官民連携を促進する中心的な団体」となりえる主体からの情報提供もお待ちしています。

○応募ページ

以下のウェブサイトにて実施要領や応募様式等、詳細情報を掲載していますので、ご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/tk_r7rfi.html

<問い合わせ先>

都市局 国際・デジタル政策課 野田、仙石、影野

電話 03-5253-8111（内線 32236、32234、32265）、03-5253-8422（直通）

募集テーマ1：地域資源の発掘・発信による地域の賑わい・生業創出

デジタル技術を活用し、地域資源の有効活用によって地域における共創経済の創出を目指します

目的

地域の多様な資源が十分に利活用されていない現状を踏まえ、デジタル技術による発掘・発信を通して、地域内外への情報発信力を高めるとともに、地域の賑わい・生業を創出する

想定するサービスの範囲

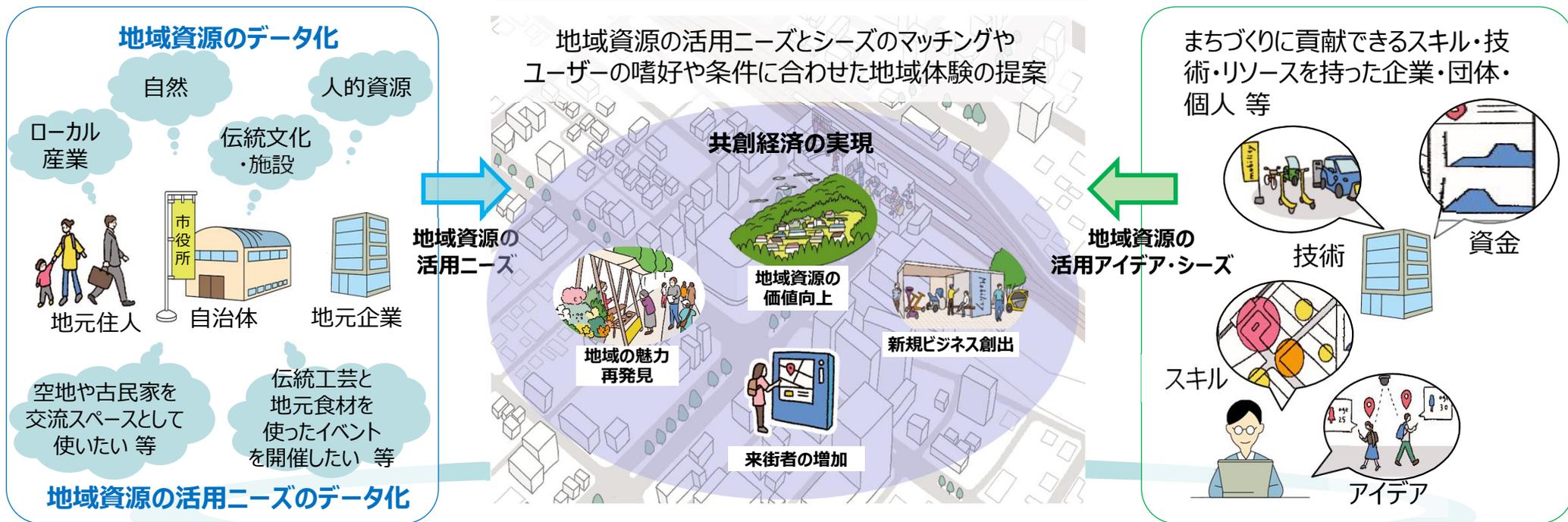
- 地域資源（自然・伝統文化・ローカル産業・人的資源など）の収集・データベース化し、地域資源への情報アクセスや利活用を促進
- 地域資源の活用ニーズと活用アイデアを掛け合わせ、新たなビジネスモデルを創出する仕組みの構築

取組イメージ

地域資源とその活用ニーズのデータ化

活用ニーズと活用アイデアを掛け合わせる仕組み

まちづくりにコミットする企業・団体・個人等

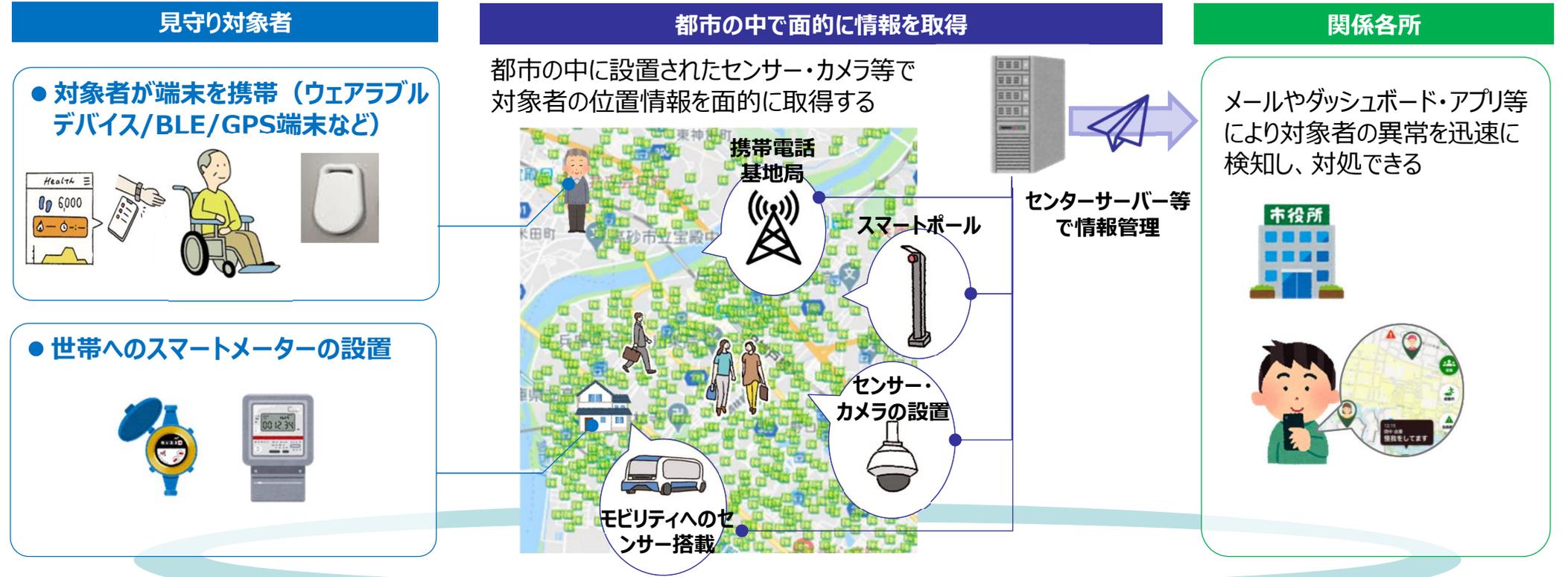


募集テーマ2：地域における面的な見守りのデジタル化

デジタル技術を活用し、地域における面的な高齢者見守りの実現を目指します

目的	スマートメーター等のデジタルツールを活用した、地域における面的な高齢者等の見守りを実現する手法を確立し、安心・安全を提供する
想定するサービスの範囲	<ul style="list-style-type: none">世帯単位を対象とした見守りを地域に広げ、面的な見守りを実現する技術の開発上記技術を活用して異常を検知した際に、地域組織等による迅速な対処を可能とする体制・システムの構築

取組イメージ



地域における高齢者等の面的な見守りを、データ取得から、可視化、関係各所での迅速な対処まで、総合的に対応するソリューションの開発

募集テーマ3：リアルタイムでの環境情報の提供等による回遊の高度化（暑熱対策）

気温・日陰等の環境情報をリアルタイムに可視化し、クールスポットの提供等を実施することで、回遊性の向上を目指します

目的

夏期の高温化や、猛暑期間の長期化が進行するなか、デジタル技術を活用し、住民・来街者の快適性の低下を防ぎつつ、地域経済の維持を考慮した回遊性向上策を確立する

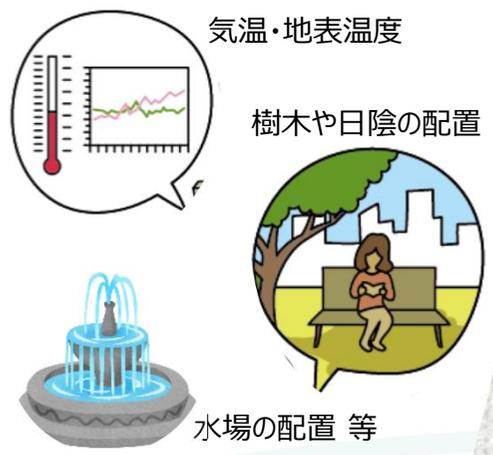
想定するサービスの範囲

- エリアの気温、地表温度、日陰情報等の情報をリアルタイムで取得し、可視化・発信する技術の開発
- 上記のリアルタイム情報と連動した、クールスポットを創出する技術の開発
- サービス提供による人流への影響を把握する仕組みの構築
- サービスの持続性を担保する仕組みの構築（エリア内の店舗・行政等にもメリットのあるサービス戦略）

取組イメージ

環境データの取得・表示

- センサー等によりリアルタイムで環境データを取得・表示



リアルタイムデータを踏まえた、多様な情報を発信



リアルタイムの環境データの取得から、ルート提案等により来街者の行動変容を促したり、現地の対策オペレーションを高度化するなど、暑熱に対する総合的なソリューションの開発